

行橋市がシンボルマーク

「ゆ」人に見立ててパワーアップ



行橋市は28日、市の魅力を発信するシンボルマークを発表した。

全国から391点の応募があり、青森市のデザイナー盛秀雄さん(58)の作品を最優秀に選んだ。行橋の頭文字「ゆ」を人に見立て、元気を吸収してパワーアップ

する姿を赤色のキャラクターで表現しており、写真、八並康一市長は「右手を挙げて足をドンと踏み出しているところに元気の良さを感じる」と評価した。

西日本工業大デザイン学部(北九州市小倉北区)の学生たちがデザイン化した後、記者会見で使うバックボードや職員の名刺に用いる予定で、リーダーの3年池田孝広さん(21)は「海あり山ありの市の特色とシンボルマークをうまく融合さ

せたデザインを考えたい」と意気込んでいた。